

Kanagawa East
Rotary
Club



神奈川東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2024-2025年度 第35週報 No. 2301 2025年(令和7年) 4月11日 第2301回 例会記録 4月18日発行

本日〈4月18日〉のプログラム

- ◆齊 唱 「それこそロータリー」
- ◆献 立 中華
- ◆卓 話 「人生100年時代、
超高齢化社会へのプロレスラーの挑戦」
プロレスラー 大原 はじめ 様
(紹介者 加野 亮一 会員)

司 会 岡部 雄一郎 副幹事

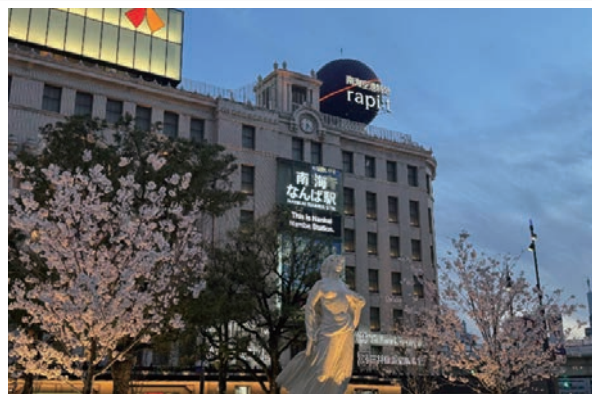
点 鐘 田口 健太郎 会長

齊 唱 「我等の生業」
ソングリーダー 池田 広樹 会員

四つのテスト 北村 大輔 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ゲスト・来賓紹介

大西 ようこ 様 (ゲストスピーカー) テルミン奏者
大西 重之 様 杵渕 三朗様 (スピーカー同行者)



南海なんば駅 さくら

会長報告

①米山記念奨学会より、米山功労者の感謝状が届いておりますので贈呈致します。

第4回マルチプル 須永 久一 会員

②地区より2027-28年度ガバナーノミニー・デジグネート告知・確定宣言が来ておりますので回覧致します。当地区指名委員会において2027-28年度ガバナーノミニー候補者として横浜西RCより推薦のありました谷川 公一(たにかわ こういち)氏を指名。他に候補者の推薦がないので、告知と同時に4月4日付にて谷川氏が2027-28年度ガバナーノミニー・デジグネートに確定したことを宣言されました。

2024-2025年度 RI 会長 ステファニー・アーチック



第2590地区 ガバナー 長戸はるみ

会 長	田 口 健太郎	会 計	渡 辺 好 史
会長エレクト	馬 場 佳 子	副 会 計	渡 邊 淳
副 会 長	西 山 潔	S A A	月 山 勇
副 会 長	河 野 明 光	副 S A A	網 野 雅 広
幹 事	角 野 弘 幸	副 S A A	加 野 亮 一
副 幹 事	岡 部 雄一郎	クラブ会報	河 邊 拓 巳

例会日 毎週金曜日 0:30~1:30PM (第5金曜日6:00PM)
例会場 崎陽軒本店
URL <https://kanagawa-higashirc.com/>
E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

事務局 〒220-0011
横浜市西区高島2-6-38 岩井本社ビル317A・B
TEL:045-442-7131 FAX:045-442-7978
創立記念日 昭和51年5月29日

幹事報告

- ①「第40回ロータリー青少年指導者養成セミナー(RYLA)報告書」が届いておりますので回覧致します。
- ②例会終了後に4月度定例理事会を開催致します。
- ③米山梅吉記念館より館報と寄付のお願いが届いておりますので回覧致します。
- ④次週例会前11:00～PP会を開催致します。

誕生日祝い

吉田 隆男 会員（4月6日）



委員会報告

◆R財団委員会 白鳥 厚夫 委員長

今月のロータリー財団は、150円/ドル 3万円です。
31.1%が未納です。早めのご寄付を、お願いします。

◆米山記念奨学委員会 小山 市康 委員長

米山記念奨学委員会からのお願いです。今日現在45名中36名の皆様からご寄付をいただいております。米山記念奨学事業は皆様からのご寄付で成り立っていることをもう一度ご理解いただき、残り期間2カ月半となりますが未だされていない方よりしくお願いいたします。

出席報告

伊東 英紀 出席委員

会員総数	45名	(24+21)名
出席会員数	33名	(18+15)名
出席率	84.62%	
ゲスト	3名	ビジター 0名
前回補正後	89.74%	前々回補正後 84.21%

スマイルボックス 金森 欣一 次年度SAA

吉田隆男君 誕生日祝 ありがとうございます。

山本 登君 本日所用にて早退いたします。

山田正憲君 トライアル会員の山田さん、入会待ってます。

伊東英紀君 大西様 本日の卓話楽しみにしています。

加藤仁昭君 本日の卓話 大西さん楽しみにしておりました。宜しくお願いします。

角野弘幸君 大西ようこ様、テルミンの演奏楽しみです。

西山 潔君 ①大西様 本日の卓話よろしくお願い致します。楽しみにしております。 ②山本登先生大変お世話になりました。ありがとうございました。

角田伯雄君 妻の葬儀に生花、弔電頂き有難う御座いました。

加野亮一君 ・トライアル会員 山田さん、本日も楽しんで下さい。 ・テルミンも楽しみです。

馬場佳子さん みなさま、次年度役員・委員長会議ではお疲れ様でした。ありがとうございました。

清水茂夫君 大西様、本日の卓話宜しくお願いします。

池田広樹君 今日は、早めに来れました。

北村大輔君 大西ようこ様、大西重之様、杵渕三朗様 ようこそ。本日の卓話楽しみにしております。

尾身康彦君 トライアル会員 山田さん、楽しいクラブへようこそ。

金森欣一君 次年度SAAの金森です。本日はSAA見習いでスマイルレポート読ませていただきました。

月山 勇君 業務連絡です。各テーブル正副マスターは、早めにミーティング予定を入れて下さい。今年度も、もう3ヶ月もありませんからね！

4月11日	16件	34,000円
本年度累計		1,490,971円
年度目標進捗状況		- 1%

卓 話

『世界最古の電子楽器「テルミン」』
テルミン奏者 大西 ようこ 様



お茶の水女子大学・東京大学大学院で物理学を学び、後にテルミンと出会い、テルミン奏者となる。実相寺昭雄監督の遺作となった『シルバー仮面』のサントラや『ゲゲゲの鬼太郎』等テレビアニメの効果音でもテルミンを奏でている。

2010年アルバム『燦々・碧』では第65回文化庁芸術祭に参加。2015年には、上海音楽学園にてテルミンの講義と演奏を行う。2017年、ThereminTimesでは、日本を代表するテルミニスト6人の一人に選ばれて紹介され、また、パリ・エクサンプロヴァンスで公演。2018年、マルセイユ日本総領事館からの後援を得て、ジャポニスム2018の参加企画としてエクサンプロヴァンスで公演。2017年、テルミンのテルミンによるテルミンの為のCDとも言えるべきアルバム『オールテルミン』発売。テルミン多重録音と、テルミンの為の委嘱作品収録。2022年、90年前のRCAテルミンの音を用いて、続編ともなる『オールテルミン2』制作。

茶道裏千家準教授の資格を持ち、高野山での得度を経て、その音色は内面性を増す。

2020年テルミンミュージアム開室。2025年、テルミンミュージアム館長に就任。世界初のテルミンミュージアムは、タウンニュース、NHK、神奈川テレビ、Theremin30、等で紹介され、『大人の科学マガジンBESTSELECTION06 テルミンmini』にも取り上げられて紹介された。

というお話を聞いて頂きながら、テルミンの演奏を聞いて頂きました。



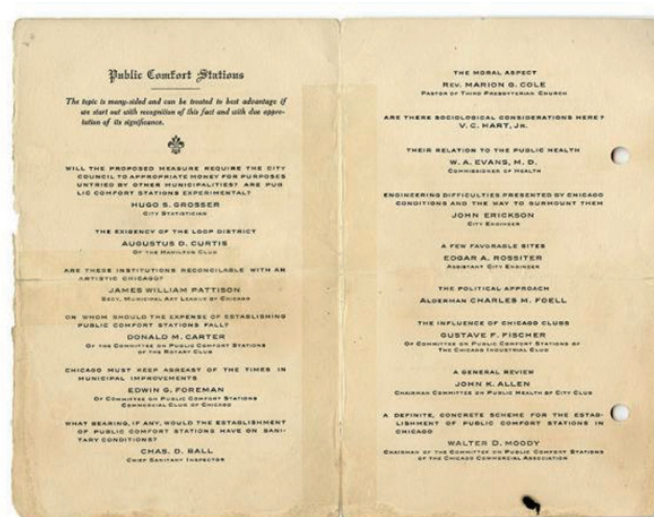
テルミンを体験する西山 潔 副会長

ロータリーニュース

公衆トイレの設置：ロータリー初期の奉仕
文：国際ロータリー 2025年3月

ロータリーの初期の奉仕プロジェクトの一つとして、1905年にロータリーが誕生した米国中西部の産業都市、シカゴに公衆トイレを設置するプロジェクトがありました。クラブ会員が自らトイレを建設したわけではありません（現在では会員が自ら設置に携わることもあります）。しかし、今日と同様に、ほかの地元団体と協力し、都市部における衛生設備の必要性を訴え、プロジェクトの資金調達を働きかけました。

当時「comfort stations」（快適な場所）と呼ばれていた公衆トイレは、公園や広場などの人通りの多い場所の地下に設置されるのが一般的でした。米国の複数都市の市民リーダーや改革者は公衆トイレの必要性を訴え、シカゴのロータリー会員もその運動に参加していました。



1907年10月24日、シカゴ・ロータリークラブが主催したフォーラムのプログラム。



米国イリノイ州シカゴのラサール通りとワシントン通りの公衆トイレの入り口。1955年2月以前の写真。これらの入り口は現在では存在しない。

ロータリーの創設者ポール・ハリスと会員のドナルド・カーターは、ほかのクラブ会員や団体と協力し、市内に公衆トイレを建設し、そのための支援を集める計画を立てました。

1907年10月、Chicago Daily Tribune紙（現Chicago Tribune紙）は、シカゴ・ロータリークラブが「ループ」と呼ばれるシカゴ中心街に公衆トイレを建設する計画を立てたことを報じました。同クラブは、その月の終わりにこのテーマに関するフォーラムを開催し、「この主題は多面的であり、事実を認識し、その重要性を十分に理解することから始めれば、最善の策を講じることができる」と指摘しました。クラブ、シカゴ市、その他の地元団体の代表者がこの会合で発表しました。議論では、シカゴが都市改善の最新手法に遅れを取らないようにする必要性が指摘され、プロジェクトの費用負担や、この取り組みが市の衛生状態や公衆衛生にどのような影響を与えるかについても検討されました。

この取り組みはシカゴ以外でも注目されました。12月には、ニューヨークで発行されている社会問題に関する週刊誌のCharities and the Commons誌が、シカゴには公衆トイレが不足しているという調査結果を報道しました。



米国イリノイ州シカゴのラサール通りとワシントン通りの公衆トイレの入り口。1955年2月以前の写真。



米国イリノイ州シカゴのラサール通りとワシントン通りの公衆トイレの入り口。1955年2月以前の写真。

このプロジェクトは、シカゴの醸造業者協会とステート通りの百貨店協会からの反対に直面しました。百貨店協会は公衆トイレを所有している店を代表する団体でした。当時の社会的通念では、男性はバーや自分の職場にあるトイレを使用することができました。しかし、女性が衛生設備を利用できる場所は限られていました。女性が利用してもよいとされていたトイレは、たいてい女性が買い物をする百貨店に設置されているトイレだけでした。

シカゴ市は当時、新しい市庁舎を建設中であり、そこに公衆トイレを設置することが提案されました。1908年3月までに少なくとも1カ所が承認され、その他の場所も検討されていました。シカゴ市とクック郡はそれぞれ、このプロジェクトに約2万ドルを拠出しました。

1911年1月、市庁舎の完成が近づいた頃、Chicago Daily Tribune紙は、「地下には男女用の公衆トイレがあり、ワシントン通りとラサール通りの角から入っている」と報じました。

ポール・ハリスは後に、公共トイレの増設が提案されたものの、資金不足によりその計画が拡大できなかったと述べています。また、将来的に地下道路の建設も見込まれていたため、異なるアプローチが必要になると考えられていました。

現在でも、ラサール通りに面した市庁舎の外壁に、入り口の一つの輪郭を見ることができます。そして、ロータリー会員は今日も、世界中の地域社会に安全な水と衛生設備を提供するための活動を続けています。

次回〈4月25日〉の予定

「ペットボトルオーケストラとは？」
音楽プロデューサー 安保 亮様
（紹介者 馬場 佳子 会員）